

快挙！全国中学ビブリオバトルで準優勝！

◆今号の記事は、津田先生（国語担当）が書いてくれました。

3月24日(日)、よみうり大手町ホールで「第2回全国中学ビブリオバトル決勝大会」(活字文化推進会議主催、読売新聞社主管)が開催されました。本校からは学校代表として、2年次の佐藤桃花さんが出場しました。本校では、1年次～3年次の国語の授業でビブリオバトルを実施しており、学級予選・学年決勝・前期生決勝を行い、代表者を決めました。

ビブリオバトル決勝大会は、19都道府県の54人が出場し、予選・準決勝・決勝を行い、グランドチャンプ本を決定しました。佐藤さんは、予選と準決勝のチャンプ本となり、決勝に進出しました。4名が決勝に進出し、佐藤さんはその中で準グランドチャンプ本(準優勝)となりました！佐藤さんは、とても喜んでいました。

佐藤さんが紹介したのは、「神様の裏の顔」(藤崎翔著、KADOKAWA)です。佐藤さんは、「聴き手に自分の考えを分かりやすく伝える」ことがとても上手にできていました。その本を読んだことがない人にも内容がイメージできるよう、プレゼンに入れる情報がよく吟味されていました。この情報の整理は、「フォーサイト手帳」にメモをしながら行ったそうです。また、観客の反応や状況に応じて話す内容を変えるなど、臨機応変にプレゼンを行うことができていました。この臨機応変さによって、より佐藤さんの思いがリアルに伝わってきました。

今回の大会にはゲストで、直木賞作家の森絵都さん、推理作家の深水黎一郎さん、芸人の小野島徹さんがいらっしやっていました。御三方のお話もとても面白かったです。深水さんが、ビブリオバトルで好きな本を紹介することについて、「何らかの形で作者に愛情の行為として伝わる。そうすると作者は喜ぶので、紹介してほしい。」とおっしゃっていたことがとても素敵だなと思いました。本校では、これからもビブリオバトルに取り組んでいきたいと思えます。

■二〇一九年三月二五日付け
「読売新聞」二九面より

全国中学ビブリオ
佐藤さんが準V



「神様の裏の顔」を紹介し準優勝した佐藤桃花さん(24日、東京都千代田区のみみうり大手町ホールで)＝秋山哲也撮影

東京都千代田区のみみうり大手町ホールで24日に開かれた中学生のお勧め本ナンバーワンを決める「第2回全国中学ビブリオバトル決勝大会」で、県立並木中等教育学校(つくば市)2年次の佐藤桃花さん(14)が準優勝に輝いた。

取り上げたのは、多くの人たちから尊敬されていた教師が実は凶悪殺人犯だったのではという疑惑を描いたミステリー「神様の裏の顔」(藤崎翔著、KADOKAWA)。

物語は、亡くなり大手町ホールで24日に開かれた中学生のお勧め本ナンバーワンを決める「第2回全国中学ビブリオバトル決勝大会」で、県立並木中等教育学校(つくば市)2年次の佐藤桃花さん(14)が準優勝に輝いた。

「5冊は読む。最近のお気に入りには、東野圭吾作品。『学校でビブリオに取り組んでいて、クラス代表からここまでたどりついた』と笑顔で語った。

